

厚生労働省 健康危機緊急時対応体制整備事業
令和7年度 統括 DHEAT 研修
実施要綱

一般財団法人 日本公衆衛生協会

1 目 的

平成 30 年の西日本豪雨以降、災害時における被災都道府県保健医療福祉調整本部及び保健所の指揮調整機能等における業務を支援するため、災害時健康危機管理支援チーム（以下「DHEAT」という。）が派遣され活動を実施してきたところである。

統括 DHEAT の役割については災害時健康危機管理支援チーム活動要領（令和6年10月24日付け健生健発 1024 第2号）により定められており、災害時は保健医療福祉調整本部において本部長の補佐、DHEAT のマネジメントや保健医療活動チーム等関係機関との調整を目的とした窓口機能等、平時は自都道府県内における DHEAT の運用体制の整備等が求められている。

統括 DHEAT の養成及び資質の向上を図るため、「令和7年度統括 DHEAT 研修の実施について（令和7年4月23日付 健生健発 0423 第1号）」に基づき、日本公衆衛生協会において本研修を実施する。

2 主 催 一般財団法人 日本公衆衛生協会
（厚生労働省 令和7年度 健康危機緊急時対応体制整備事業）

3 日 程 【第1回】令和7年6月12日(木) 10:00~17:00
【第2回】令和7年7月16日(水) 10:00~17:00
※P5 12のブロック分けを参照（ブロックごとに開催日が決まっています）

4 開催方法 ・集合研修1日
・事前学習：e-learning を研修前に受講

5 開催場所 ・鉄鋼エグゼクティブラウンジ&カンファレンスルーム
東京都千代田区丸の内1丁目8番2号 鉄鋼ビルディング 南館4階

6 受講対象者 統括 DHEAT、統括 DHEAT 候補者

- ・受講者は、災害時健康危機管理支援チーム活動要領(令和6年10月24日付け健生健発 1024 第2号)に記載されている統括 DHEAT の役割を担える者(保健所災害対応研修(DHEAT 基礎編)、及び DHEAT 標準編を受講していることが望ましい。)を対象とする。
- ・保健医療福祉調整本部構成員(統括保健師や事務担当者等)が統括 DHEAT や候補者と一緒に参加することは可能である。
- ・保健所設置市・特別区は、DHEAT 活動要領上の統括 DHEAT の定義から鑑みると基本的には研修対象外であるが、実災害時に保健所設置市・特別区の公衆衛生医師が都道府県の統括 DHEAT の補佐的な役割を担うことが相互に合意されており、かつ研修受講を希望される場合は、受講者登録票提出前に当協会にメールもしくは電話でご相談いただき検討とする。
- ・また、研修内容は令和5年度、6年度の内容から一部見直し、更新しているため、過去の受講者が再度参加することも可能である。

- 7 受講定員 ・各都道府県4名まで
(保健医療福祉調整本部構成員も含めた定員数)

8 研修目標

1. 一般目標

災害が発生した際に、保健医療福祉調整本部長とともに保健医療福祉調整本部の設置や運営、及び被災保健所との連携や保健医療福祉活動チーム等の受援に関する指揮を補佐し、並びにそれらの体制整備のために平時から活動を行うことができる。

2. 個別行動目標

(1)被災都道府県の保健医療福祉調整本部の指揮補佐ができる。

- (1)-1. 保健医療福祉調整本部の設置や当該本部が円滑に機能するように補佐することができる。
- (1)-2. 保健医療福祉調整本部内の組織横断的な調整や、関係機関や支援団体との調整ができる。
- (1)-3. 上記のための情報収集や分析評価の結果を、適切なマネジメントに繋げることができる。

(2)DHEAT のマネジメント及びその他の保健医療福祉活動チーム等の受援や、会議体の開催等を通じて活動の調整を行うことができる。

- (2)-1. DHEAT 派遣要請の適切な判断及び実行ができる。
- (2)-2. 会議体の開催等を通じて、活動の取りまとめや調整窓口機能のマネジメントができる。

(3)平時における人材育成の支援及び全国的な連携強化ができる。

- (3)-1. DHEAT 及びその他の災害対応人材育成の支援ができる。
- (3)-2. DHEAT 協議会が実施する全国的な連携強化の推進ができる。

9 研修内容

事前学習カリキュラム(e-learning) 予定

	研修科目	学習目的
1	統括 DHEAT とは	統括 DHEAT に求められる役割を知る
2	保健医療福祉調整本部とは	保健医療福祉調整本部の役割の概要を知る
3	DHEAT の活動事例	DHEAT の活動の実際を知る
4	保健医療福祉活動チームの紹介	災害時に連携・調整を行う、保健医療福祉活動チームの特性を知る

(備考)

- ・上記事前学習カリキュラムは、今後変更する可能性があります。
- ・必須で学習いただくもの(約1.5時間分)のほか、任意で学習いただくもの(約3時間分)があります。
- ・事前学習に関しては、受講対象者以外で災害時に保健医療福祉調整本部運営に関わる本庁職員の方にも視聴できるように準備予定です。

当日のカリキュラム(予定)

開始	終了	タイトル	具体的内容
10:00	10:15	主催者挨拶	
10:15	10:25	<u>講義 1</u> 保健医療福祉調整本部とは	保健医療福祉調整本部の概要
10:25	10:40	<u>講義 2</u> 統括 DHEAT とは	統括 DHEAT に求められる役割を知る
10:40	12:00	<u>演習 1</u> 発災時の保健医療福祉調整本部と統括 DHEAT の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・統括 DHEAT の役割について考える ・統括 DHEAT として、発災時の本部設置・運営の準備、被災保健所や保健医療福祉活動チームとの連携について考える
12:00	12:30	<u>講義 3</u> ①DHEAT 活動の実際 ②被災保健所や保健医療福祉関係の支援チームとの連携・調整について	過去の被災都道府県の事例紹介
12:30	13:30	昼食・休憩	
13:30	14:30	<u>演習 2</u> 情報に基づく課題の整理と方針決定	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の保健・医療・福祉等の情報から、本部活動の優先順位や意思決定を考える
14:30	15:10	<u>演習 3</u> 保健医療福祉調整本部の運営 (関係機関との連携と調整)	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地内各会議体の関係性・情報の流れを把握する必要性を知る ・各保健医療福祉活動チームの活動内容の調整や共有方法について考える ・各保健医療福祉活動チームの撤収の適切な時期と方法について考える
15:20	16:45	<u>演習 4</u> 平時における人材育成の支援及び連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治体における統括 DHEAT や DHEAT 体制の整備に関する取組状況等の共有 ・今後、各自治体で検討していくべきことについて意見交換
16:45	17:00	まとめと全体質疑	

(備考)

- ・上記研修内容やスケジュールは、変更となる可能性があります。
- ・演習内の進行で、休憩を挟みます。
- ・演習 4 では、参加者同士の意見交換を予定しています。内容やご持参いただくものについては、事前学習のご案内時にご提示します。

10 受講者の推薦及び決定

- (1) 各都道府県において、受講者として推薦された者のとりまとめを行い、添付の受講者登録票に記載し日本公衆衛生協会へ提出する。5月14日(水)締め切り
- (2) 各都道府県から推薦された受講者を日本公衆衛生協会が最終決定し、各都道府県へ連絡する。
- (3) 日本公衆衛生協会の研修システム(以下「研修システム」という)から、受講者本人へメールにて決定連絡・システム登録案内をする(参加する研修開催予定日約2週間前頃)。
- (4) 研修システムからの案内に沿って、受講者本人が研修システムにログインし必要な入力を行う。

【申込みから研修参加までの流れ】

1. 申込：都道府県がとりまとめて、添付の受講者登録票に推薦者名を記載し下記アドレスに連絡

連絡先：kenshu@jphakenkoukiki.mhlw.go.jp / kenshu@jpha.or.jp
松川・小松・八木澤



2. 受講決定：日本公衆衛生協会から都道府県に決定の連絡(受付後順次)
研修システム(HCM-JPHA:noreply@hcm-jpha.jp)から受講者本人へメールにてシステム登録のご連絡(参加する研修開催予定日約2週間前から)



※受講者本人が研修システム(<https://hcm-jpha.jp/>)にログインし受講登録をする。

3. 事前学習：研修システム内の事前学習サイトで、e-learningを受講



4. 統括 DHEAT 研修(鉄鋼エグゼクティブラウンジ&カンファレンスルーム) 集合研修へ参加

11 その他

- (1) 研修システムへのアクセスや外部とのやりとりが可能な端末を準備すると共に、以下のドメインについて閲覧・受信可能になるように準備をお願いします。
hcm-jpha.jp、*.hcm-jpha.jp(サブドメインも利用予定のため2つとなります)
- (2) 研修に係る受講料は無料です。
- (3) 研修参加に係る旅費については、厚生労働省健康・生活衛生局健康課地域保健室が所管する、地域健康危機管理体制推進事業の補助対象となります。
- (4) 受講承認された者の代理出席は不可とします。
- (5) 研修受講修了者に対する修了証書の発行を行うとともに、日本公衆衛生協会において修了者名簿の管理を行います。
- (6) その他、本研修の実施に関し必要な事項は日本公衆衛生協会の定めにより実施します。

12 ブロック分け

第1回 6月12日 (木)	近畿ブロック	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県 和歌山県
	中国・四国ブロック	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
	九州ブロック	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県 宮崎県、鹿児島県、沖縄県
第2回 7月16日 (水)	北海道・東北ブロック	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県 山形県、福島県
	関東甲信越静岡ブロック	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県 東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県
	東海・北陸ブロック	富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県 三重県

・地方ブロック DHEAT 協議会のブロックを元に、近隣県での連携を深める目的のもと、上記ブロック分けをさせていただきます。ご都合により参加する受講日の変更を希望される場合は、受講者登録票の備考欄およびメール本文にご記載ください。

・各都道府県からの参加者は、同一日にご参加下さい。

【お問い合わせ先】

一般財団法人 日本公衆衛生協会
健康危機管理支援部 松川・小松・八木澤
〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番8号
TEL : 03-3352-4283 FAX : 03-3352-4282
E-mail kenshu@jphakenkouiki.mhlw.go.jp
kenshu@jpha.or.jp
matsukawa@jpha.or.jp/komatsu@jpha.or.jp